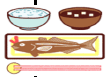
簡易動注ポート留置、肝動注療法、
ラジオ波焼灼術で入院された方へ　＿＿＿＿＿＿＿＿ 様へ　（ ID：　　）　担当医：＿＿＿＿＿＿＿＿

一般財団法人厚生会
仙台厚生病院
SENDAI KOUSEI HOSPITAL

経過	入院日	ポート留置当日	ポート留置1病日目～4病日目	ラジオ波焼灼術当日 ポート留置5病日目	ポート留置6病日目 以降	ポート留置14病日目 （退院前日）	ポート留置15病日目 （退院日）
月/日	（　/　）	（　/　）	（　/　）～（　/　）	（　/　）	（　/　）～（　/　）	（　/　）	（　/　）
達成目標	1．不安なく治療が受けられる	2．副作用について理解でき、不安なく治療が受けられる				3．退院時の注意点がわかる	
治療 処置		●抗癌剤を投与するための簡易動注ポートを左腕へ留置します （留置前、穿刺部に痛み止めのシールを張ります） ●簡易動注ポート留置後、2時間程度圧迫帯を用いて止血をします	●１病日目の朝に圧迫帯を外します ＊固定用カバーは2病日目の朝に外します ●抗癌剤投与時、心電図モニターを装着します	●午後よりラジオ波焼灼術を行います	●ラジオ波穿刺部の絆創膏を貼り替えます	●簡易動注ポートを抜去します ●抜去後圧迫帯を加圧し止血します 出血が無ければ圧を下げていきます	●圧迫帯を外します （固定用カバーは翌朝まで装着してください）
点滴		●9時～10時頃より点滴を開始します ●朝・夕に抗生剤の点滴を行います ●簡易動注ポート留置後、抗癌剤の点滴を行います （5時間程度、合計10回投与します） ※土日はお休みです 	●朝・夕に抗生剤の点滴を行います （採血の値により内容が変更になる場合もあります。ポート抜去前日まで継続します） ●抗癌剤の点滴を行います （準備が整い次第開始です）	●１０時頃より点滴を開始します ●抗癌剤の点滴はラジオ波焼灼術後に開始します	●抗癌剤の点滴を行います （準備が整い次第開始です）		
内服薬	●入院後持参薬は一度回収して確認します ●主治医の指示で継続する薬が決まり、入院中の薬は当院で処方されます （持参薬の継続が必要な場合は説明し ます） ●抗凝固剤内服中の方は（　/　）より中止です	●朝6時に必要な薬を内服します ●糖尿病薬内服、インスリン施行中の方は1日お休みです	●糖尿病薬内服、インスリン施行中の方は１病日目より再開します	●糖尿病薬、インスリンは１日休薬です	●抗凝固剤を中止していた方は、（　/　）より再開します		●退院後の内服薬は医師の指示にて必要時処方されます
検査		●採血・採尿など検査をします	●医師の指示にて採血・採尿などの検査をします				
食事	●医師の指示で特別食（治療食）が出ます （希望により食事を変更できる場合もあります）	●朝より絶食です ●留置後3時間後より水分摂取が可能です ●夕食より食事再開となります 		●１日絶食です ●水分摂取は少量であれば可能です	●朝より食事が再開です		
活動	●医師の指示にて活動範囲が決まります	●留置後1時間ベッド上安静です ●1時間後よりトイレまで歩行できます	●点滴中は点滴スタンドなどに注意して歩行してください 	●治療後は３時間安静臥床です （穿刺部位により右側臥位か仰向けで安静にします）		●左腕を曲げたり、力を加えたりしないように注意して下さい	
清潔	●医師の指示にて決まります	●点滴中、治療中は体をお拭きしますので看護師にお話し下さい					●退院翌日より入浴が行えます
説明	●看護師より入院生活について説明します ●初めて治療の方は薬剤師より抗がん剤について説明があります	●治療の経過については、朝に医師が回診しますので、その都度説明します					●退院後の注意点、内服薬、書類を説明します
備考							●退院会計は10時前後に医事課担当者がお届けします

入院期間については現時点で予想されるものです。

担当看護師：＿＿＿＿＿＿＿＿　　患者･家族：＿＿＿＿＿＿＿＿

2020年9月修正